

## 2020 年度 事業報告

2020 年 3 月に理事長職の大任を拝し、新体制となって 2020 年度をスタートしました。時を同じくして 2 月頃より国外にて兆しが出始めた新型コロナウイルスの感染拡大が、日本国内においても広がりを見せ、4 月には 1 度目の緊急事態宣言が発令され、当初は情報も少なく何もわからない中で、手探りのスタートとなりました。

特に上半期については通所サービスのお客様が感染の可能性を懸念されるケースが散見され、休止される方が多数いらっしゃいました。ショートステイにおいても利用控えが目立ち、特養の新規入所者に関しても慎重にならざるを得ず、介護収入の大幅減少となりました。1 度目の緊急事態宣言後は通所サービスのお客様も徐々に再開され介護収入においても改善の傾向となる一方、感染予防対策に万全を期す為の費用は想定以上に発生し、国・都・市からの助成も活用しながら運営体制を整えることに注力いたしました。

小平市内の施設でもクラスターが発生し、緊張感がある中、2021 年 1 月には小平市内の施設では初となる全職員に PCR 検査を実施し、感染予防・クラスター発生対策に努めて参りました。その結果 2020 年度中に法人内で感染した職員は 1 名確認されましたがクラスターの発生等の感染拡大をすることなく終えることができました。

様々な面で苦しい経営と事業所運営を続けて参りましたが、2020 年度は黒字で決算することができました。これもひとえに職員一人一人の努力と感染予防に対する協力の成果だと思っております。コロナ禍という未曾有の状況に対して共に立ち向かってくれた職員に心から感謝申し上げます。

2021 年度においても新型コロナウイルスの感染拡大は全く衰えを見せておりませんが、この一年で新型コロナウイルスについて多くのことが判明して参りました。2021 年度も万全な感染予防対策を実施し、すべてのお客様へ安全で安心なサービスを提供できるよう努めて参ります。